
砥部焼の歴史調査研究事業について

砥部町教育委員会社会教育課

1 はじめに

本町教育委員会では、砥部焼の遺産を未来に遺し、本町の重要な文化遺産として継承していくため、砥部焼の歴史について調査研究を進めており、近年は、愛媛大学と連携・協力して下記の取組を行っている。

2 取組内容

(1) 坪内家文書の撮影・解読

川登村庄屋で窯業経営も行っていた坪内家の古文書「坪内家文書」の撮影を行い、電子データとして記録・保存している。併せて、重要度の高い古文書を選定のうえ解読を行い、当時の窯業経営の実態等を明らかにした。令和7年度には、約1,600点全ての古文書の撮影が完了予定である。



(2) 砥部焼窯跡調査

『砥部焼の歴史』（昭和44年）など砥部焼史に関する過去の文献等を参考に、本町内を悉皆的に踏査し、窯跡遺跡の位置や状態など窯跡の現状を調査・記録している。また、調査結果を地域住民や窯業関係者などに周知することを目的に座談会等も開催した。令和3年度から5年度にかけての3年間で全ての地域の踏査が完了した。



3 成果と課題

古文書の電子データによる保存や窯跡の現状記録が進められたほか、調査結果に基づき窯跡遺跡を埋蔵文化財包蔵地として指定するなど、砥部焼遺産の「保存」に関しては一定の成果が得られている。

今後課題となるのは「活用」だと考えている。砥部焼遺産の価値や重要性について地域住民や窯業関係者に伝えていくことで、砥部町への「シビックプライド」の醸成を目指し、地域コミュニティの活性化や観光資源的価値の創出など、まちづくりに生かしていきたい。